

平成26年度 第7回教育研究評議会議事録

日時 平成26年11月19日(水) 14:30～16:45
場所 事務局大会議室、附属図書館分館・学生支援棟3階会議室
出席者 伊東、石井、碓氷、浅利、前田、柳澤、木村、東郷、中野、鈴木、
今野、寺村、平岡、梅澤、谷、菅野、酒井、小西、藤井、塩尻、加藤、
青山、佐古、星野、中山、糠谷、河合、鳥山、渡邊、中村、朴、高松
の各評議員
欠席者 永津、三村の各委員
陪席者 鈴木、櫻本の各監事
佐藤、杉山の各学長補佐
早川電子工学研究所コア教員

I 議事録の承認について

平成26年度第6回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学長期借入金取扱規則の制定について

議長から、外国人留学生寄宿舍整備事業の実施に伴い、長期借入金の借入れを行うための規則の制定について提案があり、前田委員から、資料1により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、委員から、長期借入金の償還に係る財務運営方法について質問があり、前田委員から、償還については、基本的には寄宿舍収入で行い、運営費交付金を充当することは想定していない旨の回答があった。

また、議長から、寄宿舍収入のみで償還するためには、入居者から利用料金を確実に徴収出来るか、入居率をどれだけ充足出来るかが重要である旨の付言があり、長期に渡る償還の要点について、本会議内で共有した。

2 静岡大学学術・技術指導取扱規則の制定について

議長から、第6回企画戦略会議において承認された「学術・技術指導」制度の創設に伴う規則の制定について提案があり、木村委員から、資料2により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、委員から、各個別事例について、技術相談又は学術・技術指導に当たるかの判断や兼業等の他制度との選択の疑義について質問があり、木村委員から、各個別事項における判断や他制度との選択等については、イノベーション社会連携推進機構に随時相談願いたい旨の回答があった。

3 国立大学法人静岡大学教職員倫理規程及び国立大学法人静岡大学行動規範の一部改正について

議長から、本学の倫理保持体制の整備等のための規程等の一部改正について提案があり、前田委員から、資料3により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

4 静岡大学安否情報システムを用いた学生及び教職員の安否確認に関する要項の一部改正について

議長から、安否確認システムを用いて学生等に緊急かつ必要な情報提供を可能とするための要項の一部改正について提案があり、前田委員から、資料4により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

5 初代の総合科学技術研究科長、同副研究科長、専攻長の選考について

議長から、平成27年4月に設置する大学院総合科学技術研究科の初代研究科長、同副研究科長及び専攻長の選考方法について提案があり、石井委員から、資料5により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、委員から、同研究科長等の任期について質問があり、石井委員から、ガバナンス改革検討委員会の検討においては、平成27年4月の設置に際して、「任期2年、再任1回2年」となる予定である旨の説明があった。

6 学生の懲戒について

議長から、学生の懲戒について提案があり、中野委員及び当該学生の所属する部局長から、懲戒処分案の概要等について、別添資料により説明があった後、種々意見交換を行い、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、第7回企画戦略会議（H26.11.5開催）について、資料6により報告があった。

2 学長選考会議について

糠谷委員から、学長選考会議の審議状況及び今後の学長候補者の選考日程について、報告があった。

3 長期借入金の文部科学大臣への申請について

前田委員から、外国人留学生寄宿舎の施設整備に伴う長期借入金の申請について、資料7により報告があった。

4 年俸制導入について

前田委員から、本学に創設する年俸制の概要及び同制度の創設に伴う就業規則の制定等について、資料8により報告があった。

なお、同委員から、本制度の創設にあたり、運用マニュアルや想定問答集を現在整備中であり、本制度の概要については、既に過半数代表者には説明しているところであるが、マニュアル等が整備され次第、必要があれば全学説明会を実施することも想定している旨の説明があった。

5 平成26年人事院勧告等に伴う対応等について

前田委員から、平成26年人事院勧告等に伴う本学の対応等について、資料9により報告があった。

なお、同委員から、平成27年4月1日に行う給与制度の総合的な見直し部分については、新たな俸給表を文部科学省と人事院が調整中であるため、文部科学省から提示され次第、改めて本会議に提示したい旨の説明があった。

6 平成28年度学士課程改革について

石井委員から、11月6日に行われた平成28年度の学士課程改革に関する文部科学省への相談概要について、資料10により報告があり、今月中に関係部局と調整を行った上で、12月初旬には、再度文部科学省と相談する予定である旨の説明があった。

7 グリーン科学技術研究所とインドネシア科学技術応用庁（インドネシア共和国）との部局間交流協定の締結について

鈴木委員から、グリーン科学技術研究所において、9月16日にインドネシア科学技術応用庁と部局間交流協定を締結した旨、資料11により報告があった。

8 「学務情報システム 緊急時対応計画」について

石井委員から、本学の基幹システムである「学務情報システム」の機能停止等のリスク回避のための緊急時対応計画について、10月2日に開催した第6回全学教務委員会において決定した旨、資料12により報告があった。

9 平成26年10月入学 大学院入学者選抜試験実施状況について

石井委員から、平成26年10月入学における大学院入学者選抜試験の実施状況について、資料13により報告があった。

10 平成27年3月卒業・修了予定者の進路状況について

中野委員から、平成27年3月卒業・修了予定者の進路状況について、

分析結果を踏まえ、資料14により報告があった。

1.1 平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について

東郷委員から、平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料15により報告があった後、種々意見交換を行った。

意見交換においては、

- ・今回の評価結果では、各国立大学が総じて機能強化に向けた取組状況を取り上げられているが、その中でも本学が戦略的・意欲的な計画を持つ法人として新たに上げられたことは重要な意味を持つ。
- ・アジアブリッジプログラムを財政的に担保するためには、同プログラムの運用経費である補助金を第三期の運営費交付金特別経費へと転換させることが重要である。
- ・法人間の相互取組としては、これまでの経緯から、国立大学協会が取りまとめることは困難と思われるが、経営協議会学外委員の意見を踏まえ、地方の経済界の意向や地方大学が置かれた財政状況等を国に提言するような動きも一方で見られる。

等の意見が出された。

1.2 平成26年度監事による業務監査の実施計画について

議長から、平成26年度の監事による業務監査の実施計画が提示された旨、資料16により報告があり、鈴木監事から、本年度の重点監査項目を設定するに至った経緯等について、説明があった。

1.3 平成26年秋の叙勲について

議長から、平成26年秋の叙勲について、本学名誉教授である太田吉彦氏が瑞宝中綬章を受章された旨、資料17により報告があった。

1.4 教員採用等報告について

議長から、大学教育センター1名、教育学部3名及び大学院情報学研究所2名の教員の採用について、資料18により報告があった。

IV その他

1 第1回インターアカデミア・アジアの開催について

鈴木委員から、12月1日から3日まで開催される「第1回インターアカデミア・アジア」について、資料19により案内があった。

なお、本件に関連して、同委員から、11月14日にベトナム国家大学ハノイ外国語大学と大学間協定を締結した旨の報告があり、本学のベトナム事務所の再開に向けた取組の一環としたい旨の説明があった。

また、委員から、アジアブリッジプログラムにおける進捗状況について

質問があり、鈴木委員から、若干遅れはしたものの、地域企業との企画連絡会議の準備会を12月15日に実施する旨の説明があったとともに、企業による奨学金の設立に向け、取り急ぎたい旨の説明があった。

2 テクノフェスタ in 浜松及びキャンパスフェスタ in 静岡について

藤井委員から、11月8日及び9日に開催された「テクノフェスタ in 浜松」について、平岡委員から、11月15日及び16日に開催された「キャンパスフェスタ in 静岡」について、昨年を上回る入場者を迎え、盛況のうちに無事終了した旨の報告があり、併せて、各部局長等に対して謝辞があった。

- 前田委員から、12月1日から4日において、会計検査院の实地監査が本学において行われる旨の案内があり、各部局長等に協力依頼があった。

以 上